

この堂と並ぶ右隣には「糟屋郡中十番札所」の看板がかかる観音堂があります。この糟屋十番の本尊は「火よけの観音」として火災予防の観音様として信仰を集めています。この観音様にはこんな話が伝わります。

「火事じゃ火事じゃ」の声に村人がきずきいそいで駆け付けると人影がなく火がもえていたので消し止めた。

そこにいた人たちはぶつどうを探しに行っていえたすかった。

以来村人に火事はなくこれは観音様のおかげとますます信仰を深めるようになったという。

行ってみた感想

学校のプールぐらいの大ききさで古い建物が2つあり中には仏像があつてとても歴史のある札所でした。



行ってみよう
32番札所



堂の入り口の石段を上ると大きな一枚の岩で覆われた「くぐり岩」をぬけると札所の堂があります。この本尊は高知県南国市にある八葉山弾師ふ寺から勧請しました。本尊の十一面観音は別名「船魂観音」とよばれ参勤交代の船旅の安全を祈願するための寺としてしられるのでご詠歌にもそれも詠みこまれています。

巡拝案内

69 32 4

糟屋郡篠栗町高田337

092-947-0966



上の写真がくぐり岩です。高さがやく130cmしかなく通るときには頭をさげないと頭を打ってしまうので注意して下さい。



篠栗町の自然のちかくにあるのでぜひ行って見て下さい。